

施策番号	1102		
施策名	大学の国際化に向けた人材育成と留学生等の受入拡大		
概要	大学の国際化に向けて、国際社会で活躍できる人材育成を進めるとともに、海外への「大学のまち京都」の魅力発信を進め、留学生や研究者の受入拡大を図る。		
担当局・部室	総合企画局・総合政策室	共管局・部室	総合企画局・国際化推進室
上位政策	11 大学		
施策に関する 主な分野別計画等	国際化推進プラン 大学のまち京都・学生のまち京都推進計画2019-2023		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名		平成 30年度	令和 元年度	令和2年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウェイト
1	市内大学等の留学生数（人）	c	c	9,320	10,696	13,637	78.4%	c	1.00
2	-	-	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
客観指標総合評価		C	C					C	

2 市民生活実感評価

設問		平成 30年度	令和元年度						令和 2年度 ※	
			評価	そう思う	どちらかと言 うとそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言 うとそう 思わない	そう思わ ない		有効回答 者数
1	京都では、世界から留学生や研究者 が集まり、 国際社会で活躍する人材 が育っている。	b	b	104 16.6%	269 43.0%	209 33.4%	32 5.1%	11 1.8%	625	-
2	京都の大学は、世界に貢献する高い 研究成果を上げている。	a	a	228 34.1%	286 42.8%	119 17.8%	27 4.0%	8 1.2%	668	-
3	-	-	-							-
4	-	-	-							-
5	-	-	-							-
市民生活実感調査総合評価		a	a							-

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により調査を一時休止しています。

<総合評価>

平成30	B	令和元	B	令和2	B	施策の目的がかなり達成されている
重み付け	☐ 客観指標	大学の国際化については、市民に成果が実感されることが重要であるため、市民生活実感評価を重視する。				
	☒ 市民の実感					

<原因分析>

客観指標総合評価

- ☐ b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。
- ☒ c評価以下であり、次の原因が考えられる。
- ・市内大学の留学生数については、積極的な留学生誘致の取組などにより、一定の増加数を維持しているが、すべての施策において社会情勢の影響等もあり短期的に効果が表れるものではなく、将来的に留学を検討する層への情報発信など、一定期間を要するものもあることから、今回の評価結果になったものと考えられる。

市民生活実感調査総合評価

- ☒ b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。
- ☐ c評価以下であり、次の原因が考えられる。

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>（令和元年度又は令和2年度新規事業）

	事業名	事業費の状況(千円)		令和2年度事務事業 評価結果における 目標達成度評価	担当局
		令和元年度 決算額	令和2年度 予算額		
1					
2					
3					
4					
5					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

- ・新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえながら、「留学生スタディ京都ネットワーク」において、海外向け京都留学総合ポータルサイトの運営やオンラインを活用した首都圏の日本語学校等への留学生誘致活動など、情報発信や受入環境整備に引き続き取り組んでいく。
- ・大学及び学生の国際化促進に向けた取組への支援や来日直後の留学生に対する行政手続等に係る情報提供、支援メニューの提供、文化施設への入場優待、市内企業への就職支援等に取り組む、留学先としての京都の魅力向上を図る。

施策名	1102	大学の国際化に向けた人材育成と留学生等の受入拡大				
指標名	市内大学等の留学生数（人）					
担当課	総合政策室		連絡先	2 2 2－3 1 0 3		
1 指標の説明						
京都市内に本部を置く大学・大学院・短期大学に在学する留学生数						
2 指標の意味						
「大学のまち京都」の活性化に向けた大学の国際化の推進状況を示す指標			3 算出方法・出典等			
			出典：留学生スタディ京都ネットワーク			
4 数値						
	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	平成30年度	令和元年度		数値	根拠	達成度
数値	9,320	10,696	1,376人増	13,637	令和2年度目標値から各年度の目標を等差的に設定	78.4%
	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値	-	15,000人	令和2年度	71.3%	京プラン実施計画第2ステージ	
5 評価基準						
最新数値の目標値に対する達成度が a：100%以上 b：80%以上～100%未満 c：60%以上～80%未満 d：40%以上～60%未満 e：40%未満			6 基準説明		7 評価結果	
			目標値を達成できればa評価とし、以下20%刻みで基準を設定した。		平成30	令和元
					C	C
						C